

◆ つながりふくしプラン ◆

第1年次の通信簿 (推進状況の評価)



評価について発言する委員

「進める会」では、75ある個別活動項目のうち、第1年次から取り組むとしていた49項目について、次の5段階で評価しました。

- A：順調に進めている。
- B：少しずつ進めることができています。
- C：準備は進んでいるが、実際の取り組みはまだまだである。
- D：取り組みが進んでいない。
- E：2年次以降に取り組む。(評価外)

評価	進める会の意見
A 15項目	- 新しくふれあい喫茶やサロンを立ち上げる自治会への支援ができています。 - 男性介護者の会が毎月開催できるよう、支援ができています。 - 平成18年度に作成した「災害救援ボランティア活動支援マニュアル」の内容を見直し、改訂版を作成した。 - 相談の内容をパソコン上で管理する「相談受付システム」を独自に開発し、相談活動に役立っている。 - 全支部で「支部社協かわら版」を発行することができた。
B 18項目	- 退職世代がボランティア活動に参加するきっかけとなる講座を始めたが、実施回数が少なく、参加者も限られている。 - 小茅野自治会と波賀北部地域で、「出前ふれあいサロン、お達者クラブ」の取り組みが始まった。 - 住民が読みやすい広報紙づくりや、ホームページの内容や機能の充実を図るなど、広報活動にさらに力を入れてほしい。
C・D 16項目	- 災害についての学習会や災害ボランティアセンター設置訓練は、大切なことなので、継続して取り組んでほしい。 - 市の地域包括支援センターとのさらなる連携を図るため、定期的に連絡会を開催してほしい。 - 小地域福祉活動を充実させるため、福祉委員の研修を継続して行い、ハンドブックなどの作成に取り組んでほしい。

※E評価は26項目 合計75個別活動項目

「進める会」のまとめ

23年度は東日本大震災の被災地支援活動などもあり、十分な取り組みができない状況であったと思う。しかし、AとBの評価が全体の約70%となり、計画は順調に推進されていると評価する。

住民は従来からの取り組みを充実させるだけでなく、新しいことにも取り組んでほしいと期待している。24年度は新規事業にも取り組めるよう、がんばってほしい。

2年次(24年度)の重点的な取り組みは…

- 小地域福祉活動モデル地区(自治会)を指定し、小地域福祉活動の強化、充実をめざし取り組みます。
- 支援の必要な世帯のゴミだしや買い物支援など、ご近所で支え合える活動を進めます。
- 買い物が困難な高齢者や障がい者の生活を支援する「買い物サービス」の実施に向けて検討します。
- 宍粟市のボランティア活動のさらなる推進のため、「ボランティアセンター運営委員会」を設置します。
- 日常生活で様々な判断をすることが困難な高齢者や障がい者の権利を守る「権利擁護活動」をさらに進めます。

■役職員で 業務研究会を設置

社協では、これらの事業を進めるため、業務研究活動として、理事と地域福祉担当者が4班に分かれ、先進的な取り組みを行う社協に出向き調査、研究を行います。
そして宍粟の地域にあった取り組みを見つけていくことにしています。